

平成24年08月09日

報道関係各位

銚子信用金庫

3大学ゼミによる「銚子地域の活性化プロジェクト」への参加協力について

銚子信用金庫（銚子市双葉町5番地の5 理事長 松岡明夫）では、駒澤大学 長山ゼミ・立正大学 吉田ゼミ・桜美林大学 大熊ゼミの取組む「銚子地域の活性化プロジェクト」の地域協力機関として、銚子信用金庫内に事務局を設置し、銚子市役所・銚子商工会議所とともに3大学の活動のサポートを行なっております。

本プロジェクトは、3大学のゼミが合同で研究・調査を進めており、約100名の学生が参加する大規模な取組みとなっております。8月7日（火）には、銚子信用金庫本店8階大ホールを会場に、プレミーティングを開催し、3大学の学生約30名が参加して企画案のプレゼンテーションを実施しております。

また、プレミーティングにおいては、銚子市役所、銚子商工会議所のほか、プレゼン企画に対応可能な銚子市内の事業者にもご出席いただいており、学生との意見交換や企画案への情報提供も行なわれました。

今後は、8月27日（月）～30日（木）の期間、銚子市内のホテルにて3大学合同の合宿を行い「銚子地域の活性化プロジェクト」の現地調査・研究・検討を進め、合宿最終日の8月30日（木）に、シンポジウムを開催し（会場：銚子市保健福祉センターすこやかなまなびの城）、研究結果と活性化プラン発表を実施する予定となっております。

添付資料（参考）：「銚子地域の活性化プロジェクト」概要（2ページ）

以上

◆プレミーティング（プレゼンテーション）の様子



本プレスリリースについてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 営業推進部（担当：市田）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町5番地の5

tel : 0479-25-2121 fax : 0479-24-4591 e-mail : suishin@choshi-shinkin.co.jp

ちうしんきん<http://www.choshi-shinkin.co.jp>

2012年6月19日

「銚子地域の活性化プロジェクト」概要

駒澤大学 経済学部
長山宗広（文責）

1. 目的

- ・被災地「銚子」の再生に向けて、学生達が地域の現状と課題を整理し、市役所・商工会議所等に対して地域活性化の提言を行う。
- ・学生達は、事前に統計データ分析など十分な下調べをした上で、ゼミ合宿期間（プレ調査も含む）に現地でのフィールド・ワークを行う。
- ・地域活性化案の策定にあたっては、漁業・地場製造業・商店街・観光の産業連関性を意識した経済的発展をもたらすプランに加えて、自然環境・社会福祉・コミュニティ再生といった非経済的側面との両立を目指す総合的振興プランづくりを目指す。
- ・地域活性化案の幾つかは、提案（プラン）にとどまらず、地元企業と学生との共同作業（アクション）により、形のあるものとして残すことを目指す。例）地元醤油や青魚を使ったB級グルメの商品化、学生お勧めの商店街マップや観光ルートマップの制作など（『銚子市観光振興コンサルティング事業 報告書』の具体化）

2. スケジュール

5月25日：銚子市の協力機関とのキックオフ・ミーティング

5月28日：3大学合同のキックオフ・ミーティング

6月～7月：事前調査

銚子市に関する7つの項目に関して、統計データ・既存資料等を分析
<7つの調査班>

①漁業・農業

②地場産業（醤油など食品製造業、水産加工業）

③商店街・中心市街地

④観光サービス

⑤コンテンツ（映画・マンガ・ゲーム、フィルコミッションなど）

⑥インフラ（再生可能エネルギー、ローカル鉄道など交通、地域金融）

⑦コミュニティ（医療・福祉の高齢化対策、婚活など少子化対策）

8月 7日：現地でのプレ調査（プレミーティング）

8月27日～：3大学合同ゼミ合宿（現地でのフィールドワーク）

8月30日：シンポジウム開催（学生達のプラン発表、地元関係者とのパネル討論）

3. 参加者

100名

駒澤大学の長山宗広准教授とゼミ生約50名（2年～4年生）

立正大学の吉田健太郎准教授とゼミ生18名（3年生）

桜美林大学の熊省三准教授とゼミ生約30名（2年～3年生）

4. 協力機関

銚子市役所

銚子商工会議所

銚子信用金庫

<現地窓口>

銚子信用金庫 営業推進部 市田哲也次長

以上